

北海道子どもホスピスプロジェクト^{ってなあに？}



「子どもホスピス」という言葉を聞いたことがありますか？

生命を脅かす病気や障がい等を持つ子どもとその家族が治療中であっても、子どもとしての時間を楽しく過ごすことのできる居場所として、安心して立ち寄り、遊びや学びを通して、子どもとしての時間を十分に持つことのできる育ちの場。また、家族にとっても安らぎの場となるような環境です。子どもホスピスの動きは日本ではまだまだ始まったばかりで、現在日本には、地域コミュニティ型ホスピスは、TURUMI子どもホスピス、横浜子どもホスピス、うみとそらのおうち、奈良親子レスパイトハウスの3箇所しかありません。ここ北海道にも「子どもホスピス」を設立することを目指し活動しています。



北海道日本ハムファイターズ投手陣の方々からご支援いただいています！

お外でも思いっきり遊ぼう！



病気と共に生きる子どもがこどもらしく、
当たり前なことを当たり前でできる居場所。

私たちの思い

私たちは、生命を脅かす病気や障がい等を抱え生きる子どもとそのきょうだい、家族に寄り添いながら地域と共に歩む子どもホスピスを目指しています。皆さんと一緒に関わりながら、子どもとして当たり前のことが当たり前でできるようサポートし、温かい居場所をつくっていきます。

活動について

季節に合わせたイベント、講演会を開催しています。「あそび」についても私たちは日々学びながら、どんな子どもも楽しむことができる、遊びを提供できるよう活動しています。また、治療と治療の間にご家族で、のんびりとくつろぐことのできる居場所として「くまさんち」を運営。治療の前後、お家と病院の間の施設として、思いっきり家族の時間を自由に過ごすことができる環境を整えています。

子どもホスピスの対象

生命を脅かす病気や障がい等を抱え生きる子どもとそのきょうだい、家族が対象となります。

理事長よりメッセージ

子どもホスピスは、子どもの願いを叶え、子どもが子どもとして生きることが保障する場の1つです。家族と地域住民が日常的に触れ合い交流しながら、社会全体で重い病気や障がいとともにある子どもを育てていく、そんな居場所づくりをしていきたいと思っています。

こどもホスピスの活動は、
さまざまなかたちのご寄付や助成金に
支えられています。

賛助会員を募集しています。

賛助会員として活動を継続的に見守り、支えてくださる方を募集しています。以下のQRコードを読み取り、お申し込みフォームに必要事項をご入力ください。その後、以下の金額をお振込みください。

- 賛助会員会費 1口 3,000円(年額)
 - 法人の賛助会員会費 1口 20,000円(年額)
- ※入会金無料



銀行名：北海道銀行
店名：本店営業部
口座番号：3458885
種目：普通預金



くまさんち

北海道大学病院から車で15分前後、市営地下鉄東西線西18丁目駅から徒歩5分ほどの地区に、2LDKのマンションをお借りし「くまさんち」を運営しています。現在は、協力関係にあります北海道大学病院小児科に入院・通院しているこども、その家族のみの利用とし、様々な環境が整った段階において、少しずつ受け入れ先の病院を増やしていくことを目指しております。



「いいね!」「シェア」などで応援する

@hokkaido.childrens.hospice

@hokkaido-chp

励みになります!



スタッフの紹介

理事長

奥田 萌

副理事長

杉目 敦子

長 祐子

北海道大学病院 小児科医

理事

白坂 るみ

渡邊 護

公認心理師/臨床心理士/看護師

司法書士

監事

山谷 聡子

税理士

応援アンバサダー

大平 まゆみ

ヴァイオリニスト
元札幌交響楽団コンサートマスター

副島 賢和

昭和大学大学院
保健医療学部 准教授

久保田 一男

久保田 鈴美

難病学生患者を支援する会

NPO法人 しぶたね

お問い合わせ

NPO法人
北海道こどもホスピスプロジェクト事務局

〒060-0063

札幌市中央区南三条西四丁目21番地6
南三西四ビル9階 札幌観光株式会社内

✉ hokkaido.chp@gmail.com

公式ホームページ
簡単アクセスはこちら▶



病気とともに生きることが
こどもらしく過ごせる環境づくりと
そのご家族が集える場所を作りたい

◆ 北海道にこどもホスピスを開設することを目指す

NPO法人
北海道こどもホスピスプロジェクト

HOKKAIDO CHILDREN'S HOSPICE
200120 58